

2日目 9月17日

会 場: 江津市民球場

第1試合		～2回戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
大 社		0	0	2	0	0	0	0	0	0							2	7	0
石見智翠館		0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	3	0
(投手―捕手)																			
・ (大)		馬庭→安松 ― 中野																	
・ (智)		仲谷→松田→安川 ― 田中																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (大)		吾郷																	
・ (智)																			
(審判)〔球審〕		門崎				〔一塁〕 本田				〔二塁〕 清水				〔三塁〕 野原					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(大)	38	7	2	1	0	0	9	4	1	0		0		0	0	0	0	0	
(智)	36	3	0	0	0	0	9	6	2	1		0		0	0	0	0	0	

「1年生左腕の好投で大社が投手戦を制す！」

一次予選屈指の好カードは、最後までどちらに転ぶかわからないわからない投手戦となった。

立ち上がりは石見智翠館が好機を得ることが多かった。1回裏に2つの四死球で2死1・2塁としたが、三ゴロ。2回裏にも四球と盗塁で無死2塁としたが、7番木村の送りバントを大社の投手馬庭が3塁へ転送し封殺すると流れが変わった。

3回表、大社は先頭を四球で出すものの送りバントを2塁で封殺され、安打で1・2塁に好機を拡大させるも、再び送りバントを3塁で封殺され流れを逸したかに見えた。しかし、後続が四球で2死満塁として4番藤田が追い込まれてからの外角低めの直球をセンター前に弾き返し、これが先制の2点適時打となり先制した。

ここから大社先発の馬庭が躍動する。3～5回は4番今泉の死球のみに抑え、前半5回を無安打に抑えた。6回裏は2四死球でピンチを招くが一塁手の好捕もあり防いだ。7回に石見智翠館が代打攻勢に出ると初安打含む2安打を許したが、2番上田を空振り三振に仕留め役割を果たした。8・9回を継投したエース安松が1安打に抑え、継投による0封で石見智翠館を下した。大社は石見智翠館の継投を前に5回以降走者をあまり出せず、少しの好機をものにした試合だった。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]